

84

Tokyo
Mitaka
Philharmonia

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第84回定期演奏会 沼尻竜典 三鷹市名誉市民記念 Tokyo Mitaka Philharmonia The 84th Subscription Concert

沼尻竜典 (音楽監督・指揮)

Ryusuke Numajiri, Music Director and Conductor

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
(管弦楽)

Tokyo Mitaka Philharmonia, Orchestra



© 藤山紀信

前橋汀子 (ヴァイオリン独奏)
Teiko Maehashi, Violin

日本を代表する国際派ヴァイオリニスト、前橋汀子を迎えて
沼尻竜典 & ミタカ・フィルのベートーヴェン & シューマン、輝かしく名曲

© Yusuke Takamura

Program

ベートーヴェン

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61

Beethoven: Violin Concerto in D major, op.61

シューマン

交響曲第3番 変ホ長調 op.97 「ライン」

Schumann: Symphony No. 3 in E flat major, op.97 "Rhenish"

14:30開演 みたかジュニア・オーケストラによるプレ・コンサート

15:00開演 トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア第84回定期演奏会

リハーサル見学会

本公演のリハーサルの一部をご覧いただく見学会です。

2022年3月17日[木] 14:00-15:00 【要予約】Tel: 0422-47-5122

【受付開始】マークル会員 2021年12月8日[水] / 一般 12月14日[火] 【定員】60人

【参加方法】本公演のチケット持参の方は無料。*見学会のみご希望の方は500円(当日支払い)

*2階正面席よりご覧いただけます。2階へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。

*リハーサルの曲順は未定です。予めご了承ください。

2022年 **3月19日[土]** 15:00開演 (14:00開場) **三鷹市芸術文化センター風のホール**

Saturday, March 19, 2022 / 15:00 Mitaka City Arts Center

三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日

マークル会員 2021年12月8日[水] / 一般 12月14日[火]

料金(全席指定)

マークル会員 S席6,300円・A席5,400円 / 一般 S席7,000円・A席6,000円 / U-23 (23歳以下) 4,000円

★三鷹市内在住または在学の小学生から高校生2,500円* *会員・一般券のご購入者と同伴の場合のみ適用。電話予約のみ。

*未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。*U-23及び★をご利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。

プレイガイド

●三鷹市芸術文化センター *発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。

・電話予約 チケットカウンター 0422-47-5122 (午前10時-午後7時/月曜休館/月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

・インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket> *事前登録(無料)が必要となります。*携帯電話からの場合、座席は自動採番です。

●イープラス <https://eplus.jp>

主催・お問い合わせ

公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122

Mitaka City Sports and Culture Foundation



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団
Mitaka City Sports and Culture Foundation

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア第84回定期演奏会の聴きどころ

2021年、指揮者デビュー 30周年を迎えたトウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの音楽監督の沼尻竜典が、同年秋、三鷹市名誉市民となりました。国内外の第一線で活躍し、オペラの文化の普及にも務める沼尻の活躍は、ますます注目されています。

第84回定期演奏会の前半は、2020年に生誕250年を迎えたベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲をお贈りします。この作品は、作家のロマン・ロランが「傑作の森」と呼んだベートーヴェンの中期を代表する1曲であり、メンデルスゾーン、ブラームス、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲と並び称される名曲です。ソリストは、2022年に演奏活動60周年を迎える日本ヴァイオリン界の至宝、前橋汀子。前橋にとってこの作品は、20世紀を代表するヴァイオリニスト、シゲティにレッスンを受けた思い出深い作品であることが、「私のヴァイオリン 前橋汀子回想録」にも綴られています。沼尻 & ミタカ・フィルとの協演は、第58回定期演奏会（2011年9月）以来となり、さらなる期待が寄せられています。

後半は「シューマン交響曲全曲演奏&録音プロジェクト」の第3弾、「ライン」の愛称で親しまれている第3番の演奏です。この交響曲は、彼がライン河畔の街デュッセルドルフの音楽監督に就任した1850年12月に完成させた作品です。ライン川の雄大な流れやケルン大聖堂の壮麗さ、そして新天地での希望と創作意欲に溢れた様子が窺えます。ミタカ・フィルが演奏するのは、「ロベルト・シューマン生誕200年記念コンサートvol.2」(第55回定期/2010年11月)以来。当時ご来場いただいたお客様からは、「シューマンの交響曲に内在するエネルギーや、様々な感情の表出を見事に描き切っている」「シューマンがもともと想定していたであろう規模のオーケストラで聴いて、新たな発見があった」などの感想をいただきました。沼尻×ミタカ・フィルのより一層磨きのかかった「ライン」、どうぞお楽しみに。

沼尻竜典 (音楽監督・指揮)

Ryusuke Numajiri, Music Director and Conductor



三鷹市出身。びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。

ベルリン留学中の90年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、フランス放送フィル、ミラノ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等世界各国のオーケストラに客演を重ねる。

国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを

歴任。11年夏にはサイトウ・キネン・オーケストラにデビュー、バルトーク『中国の不思議な役人』で成功を収めた。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、リューベック・フィルとのコンサート双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演、びわ湖ホールでは、17年より4年間かけてミハエル・ハンペの新演出による『びわ湖リング』を上演、空前の成功を収めた。14年にはオペラ『竹取物語』を作曲・初演、国内外で再演されている。CD録音も多く、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア（旧トウキョウ・モーツァルト・ブレイヤーズ）とはベートーヴェンの交響曲全集をリリース後、定期的にレコーディングを重ねている。17年紫綬褒章受章。21年秋、三鷹市名誉市民となる。

前橋汀子 (ヴァイオリン)

Teiko Maehashi, Violin



2017年に演奏活動55周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その演奏は優雅さと円熟性に溢れ、多くの聴衆を魅了してやまない。国内外で活発な演奏活動を展開し、これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、フランス国立管、クリエグランド管、イスラエル・フィルなどの名楽団、メータ、ロストロポーヴィチ、サヴァリッシュ、マズア、小澤征爾など世界の一流で活躍するアーティストとの共演を重ねている。

近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開、好評を得ている。一方、J.S.バッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」全曲演奏会、そして2014年からは原田禎夫（チェロ）、久保田巧（ヴァイオリン）、川本嘉子（ヴィオラ）と共にベートーヴェン：弦楽四重奏曲の演奏会を行うなど、室内楽にも意欲的に取り組んでいる。

なお、レコーディング活動も活発で、最新CDは自身2度目の録音となる「バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全集」。著書「私のヴァイオリン 前橋汀子回想録」が早川書房より、最新刊「ヴァイオリニストの第五楽章」が日本経済新聞出版より2020年11月に出版されている。2004年日本芸術院賞受賞、2007年第37回エルクソンモービル（現・ENEOS音楽賞）音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2011年春の紫綬褒章、2017年春の旭日小綬章を受章。

使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・グアルネリウス。

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

Tokyo Mitaka Philharmonia



© Yusuke Takamura

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアは、1995年三鷹市芸術文化センター開館時に三鷹市出身の指揮者、沼尻竜典の呼び掛けにより誕生したトウキョウ・モーツァルト・ブレイヤーズが創立20周年を迎えたことを機に、2016年に名称を変更したプロフェッショナル・オーケストラである。三鷹市芸術文化センター風のホールに本拠を置き、びわ湖ホール芸術監督など国内外で活躍を続ける沼尻竜典を音楽監督に擁し、メンバーは、国内外のオーケストラやソリストとして活躍する日本人演奏家が多く参加しているのが特徴である。同センターでの定期演奏会のほか、活動の舞台を三鷹市以外にも広げて演奏活動を展開する。メンバーは、みたかジュニア・オーケストラの演奏指導、三鷹市内の小学校へのアウトリーチも行うなど、活動は多岐にわたる。2018年にリリースされた「モーツァルト：交響曲第40番、ピアノ協奏曲第18番」は、同年8月の朝日新聞で推薦盤に、ぶらあぼ同年9月号ニュー・リリース・セレクションに選ばれている。

<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/wind/philharmonia/>

ホームページ

風のホールにご来場のお客様に安心して主催公演をご鑑賞いただくために、必要な対策を講じております。なお、新型コロナウイルスの影響に伴い、記載内容に変更が生じる場合がございます。詳細は当財団のホームページをご確認ください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



@MusicMitaka (公財) 三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式Twitterです。ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします！

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。 口座番号：(ゆうちょ銀行) 00190-5-569156 加入者名：三鷹市芸術文化センター	* 払込取扱票の通信欄に〈予約番号〉をご記入ください。 * 普通郵便の場合84円、簡易書留ご希望の場合404円を加算してお振込みください。 * 振込手数料はお客様のご負担になります。 * お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。
PARTNER 本公演のチケットまたはチケット半券で三鷹駅周辺の「チケットパートナーショップ」の特典が受けられます！ http://mitaka-sportsandculture.or.jp ※サービス有効期間は公演日から7日間	
託児あり 本公演には託児サービスがございます。 対象：1歳～未就学児 定員：10名（要予約） 料金：お子様一人につき500円 お申込み：2022年3月5日(土)までに三鷹市芸術文化センターへお申込みください。 Tel: 0422-47-5122	財団友の会「マークル」会員募集中!! 一般発売日より前に会員先行予約があります。 MARCL * 年会費2,000円 * チケットの優先予約・割引（1公演2枚まで）、ポイントの還元（ご利用額の5%）情報誌の送付、チケットの無料送付（口座会員のみのみ）。
三鷹市芸術文化センター 181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 Tel: 0422-47-5122 JR三鷹駅南口2番バス乗り場から「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ。または6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。または徒歩約15分。	

* 公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。* 公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。

* 未就学のお子様の入場はできません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正席最前列はご遠慮ください。* 2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。* お車でのお来館はご遠慮願います。

Designed by Fumiki Tomioka

前橋汀子

並び立つ者なき至高——
2度目にして決定的な「無伴奏」。前橋汀子の真骨頂を聴く。

Sony Music Japan International



J.S. バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ(全曲)

ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ(全曲) BWV1001-1006

〔演奏〕 前橋汀子 (ヴァイオリン) 〔使用楽器〕 デル・ジェス・グアルネリウス(1736年製作)
〔録音〕 2017年3月14-16日、28-30日、4月17-20日、2018年1月22-24日 サラマンカホール、岐阜



Now On Sale

2ハイブリッドディスク

● SICX 10006~7

定価 ¥4,950 (税抜価格 ¥4,500)

